corega CG-WLUSB2AGST
らくらく導入ガイド

〈お願い〉

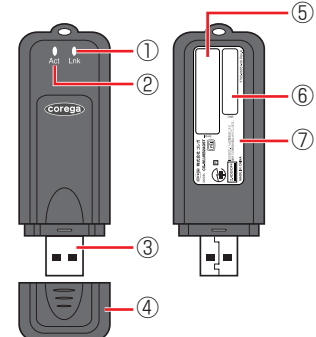
・本書は本製品の取り扱い方法を説明しています。本書を含めた取扱説明書をよくお読みの上、正しい設置・操作を行ってください。また、お読みになった後も大切に保管してください。
・設定に使用するパソコンがWindows XP／2000の場合は、必ず「コンピュータの管理者」または「Administrator」権限のユーザ名でログオンしてください。
・本書に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。
・5GHz帯を屋外で使用することは電波法により禁止されています。IEEE802.11aは屋外で使用することはできませんのでご注意ください。

付属品一覧

本商品をご使用になる前に、以下のものが同梱されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

□CG-WLUSB2AGST　本体　□ユーティリティディスク（CD-ROM）
□USBケーブル（1.5m）　□らくらく導入ガイド（本書）
□Q&A　□安全にお使いいただくためにお読みください　□製品保証書
□電波干渉注意ラベル

各部の名称

①Lnk LED（緑）
　点灯：パソコンと接続している状態です。
　消灯：通信ができていない状態です。
②Act LED（緑）
　点滅：通信中です。
　消灯：通信していない状態です。
③USB プラグ
　パソコンのUSBポートに接続します。
④キャップ
　本商品を使用しない時に装着し、USBプラグを保護します。
⑤シリアル番号ラベル
　本商品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、弊社サポートセンタへの問い合わせの際に必要になります。
⑥MAC アドレスラベル
　本商品のMACアドレスが記載されております。
⑦製品ラベル
　本商品の製品名が記載されております。

メモ　背面にある[ラベル図]ラベルは、この無線機器が2.4GHz帯を使用し、変調方式としてDS-SSとOFDM変調方式を採用、想定される干渉距離は40mであることを表します。また、周波数変更の可否として、全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能です。

接続の前に

本商品を接続するには、次のものが必要です。

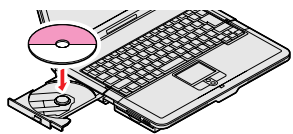
■対応するパソコン
・USBポートを搭載しているPC/AT互換機（DOS/V）

■対応するOS
・Windows XP／2000／Me／98SE

注意
・本商品をパソコンに挿し込む前に、必ず付属のユーティリティディスクからソフトウェアをインストールしてご使用ください。
・本商品は「STEP2 本商品をパソコンに挿し込む」までパソコンに挿し込まないでください。

STEP 1 ユーティリティをインストールする

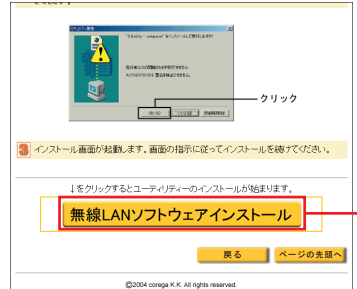
注意　現在使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。

1 ユーティリティディスクをパソコンのCD-ROMドライブに入れます。

メモ
・次のような警告の画面が表示された場合は、[はい] をクリックします（弊社にて動作を確認しております）。

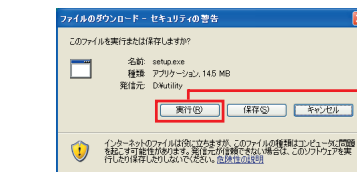
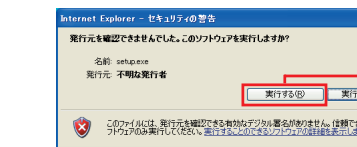
クリックします。

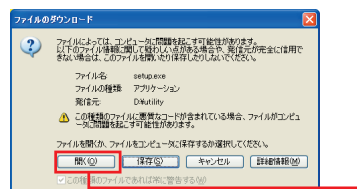
・「今後、このメッセージを表示しない」のチェックを外すと、Internet Explorer のアクティブ コンテンツが起動するたびに表示されます。

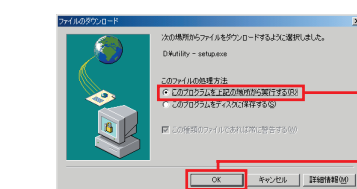
2 自動的に次の画面が表示されます（しばらく待っても表示されない場合は、「マイコンピュータ」のCD-ROMのアイコンをダブルクリックしてください）。

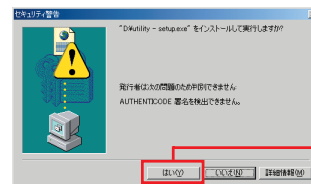
3 手順 2 の画面で［無線LANソフトウェアインストール］をクリックすると、次の画面が表示されますので、インストールのご注意をお読みになってから、再度［無線LANソフトウェアインストール］をクリックします。

4 お使いの環境により手順が異なりますので、次の手順でインストール作業を進めてください。

● Windows XP Service Pack2 の場合

① 次のような警告の画面が表示されますので、[実行] をクリックします（弊社にて動作を確認しております）。

② ［実行する］をクリックします（弊社にて動作を確認しております）。

● Windows XP Service Pack1 の場合

次のような警告の画面が表示されますので、[開く] をクリックします（弊社にて動作を確認しております）。

● Windows 2000／Me／98SE の場合

① このプログラムを上記の場所から実行する」を選択して、[OK] をクリックします。

注意　Internet Explorer 6.0をお使いの場合は、警告の画面が表示されますので［開く］をクリックします（弊社にて動作を確認しております）。

② セキュリティ警告が出ますが、[はい] をクリックします（弊社にて動作を確認しております）。

メモ　上記の画面はお使いの環境によって表示されない場合もあります。

5 「Installshield wizard」の画面が表示されますので、「InstallShield ウィザードの完了」の画面が表示されるまで［次へ］をクリックしてインストール作業を続行します。

6 「InstallShield ウィザードの完了」の画面が表示されたら、［完了］をクリックし、パソコンを再起動します（再起動を促す画面が表示されなくてもパソコンを再起動してください）。

7 パソコンが起動したら、CD-ROMドライブからユーティリティディスクを取り出します。

STEP 2 本商品をパソコンに挿し込む

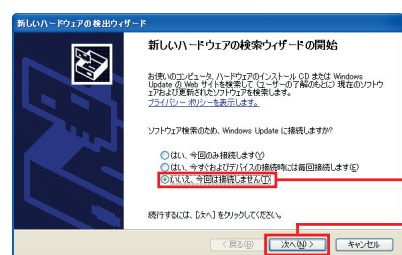
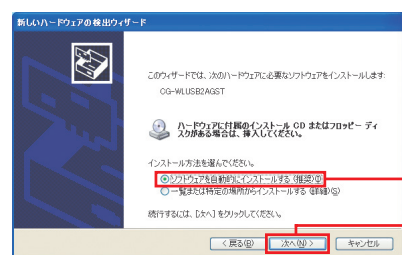
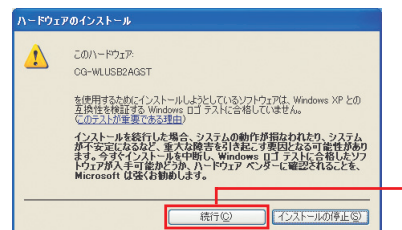
1 パソコンのUSBポートに、本商品を挿し込みます。

注意　本商品の取り付けは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧の上、取り付けてください。

2 自動的にドライバのインストールが開始されます。

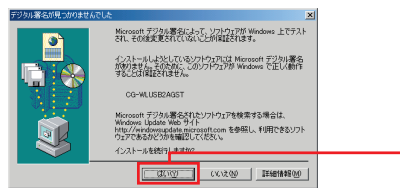
● Windows XP の場合

Windows XP Service Pack2 は手順①から、Windows XP Service Pack1 は手順②から進めてください。

① 「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されます。「いいえ、今回は接続しません」を選択し、[次へ]をクリックします。

② 「ソフトウェアを自動的にインストールする」が選択されていることを確認し、[次へ]をクリックします。

③ 次のような警告の画面が表示されますが、そのまま[続行]をクリックします。

④ 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」画面が表示されますので、[完了]をクリックします。

⑤ パソコンを再起動します。

● Windows 2000 の場合

① 次のような警告の画面が表示されたときは、[はい]をクリックし、作業を続けます（弊社にて動作を確認しております）。

② パソコンを再起動します。

● Windows Me／98SE の場合

① 自動的に本商品のドライバがインストールされます。

② パソコンを再起動します。

ドライバのインストールが完了したら、次の図をご覧いただき、お使いの環境にあわせて設定を行ってください。

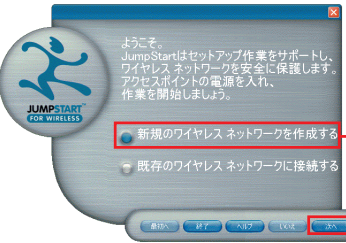
STEP 3a JUMPSTARTを設定する

JUMPSTARTとは、米国Atheros Communications, Inc.が開発・提供する、無線LANセキュリティ設定技術です。JUMPSTART対応の無線ルータや無線アクセスポイントと併用することで、ユーザはより簡単に高セキュリティに守られた環境で通信することが可能となります。

● JUMPSTARTに必要なもの
- JUMPSTART対応の無線ルータまたは無線アクセスポイント（親機）
- JUMPSTART対応の無線LANアダプタ（子機）
- JUMPSTART対応のOS（Windows XP／2000）

メモ JUMPSTART対応の製品は、順次追加される予定です。詳しくは弊社ホームページ（http://www.corega.co.jp/）にてご確認ください。

■設定の手順

●新規に設定する場合

はじめてJUMPSTARTを使用する場合、次の手順を行ってください。

1 デスクトップにある「JumpStart」のアイコンをダブルクリックします。

注意 JUMPSTARTは、本商品のユーティリティをインストールする際に自動でパソコンにインストールされます。

2 次の画面が表示されますので、「新規のワイヤレスネットワークを作成する」を選択し、[次へ]をクリックします。

3 接続可能な無線ルータや無線アクセスポイントの検索がはじまりますので、検索が完了するまでしばらくお待ちください。

4 検索が終了したら、接続する無線ルータや無線アクセスポイントのLEDの点滅パターンが、次の図で示されているLEDの点滅パターンと一致することを確認し、[はい]をクリックします。LEDの点滅パターンは、ステータスLED（製品によって名称が異なる場合があります）が短く点滅した後、1回長く点灯します。

※無線ルータの例

注意 必ず、接続する無線ルータや無線アクセスポイントのステータスLED（製品によって名称が異なる場合があります）がパターン通りに点滅しているかご確認ください。対象となる無線ルータや無線アクセスポイントのLEDが点滅していない場合は、本書に記載されている「JUMPSTARTに関するQ&A」をご覧いただき、接続や設定をご確認ください。

5 「パスワードの入力」欄にJUMPSTARTで使用する任意のパスワードを入力し、確認のために「パスワードの確認」欄にもう一度パスワードを入力して、[次へ]をクリックします。

注意 パスワードは、半角英数字および半角記号を使って設定してください。また、文字数は6文字以上使用して設定することをおすすめいたします。

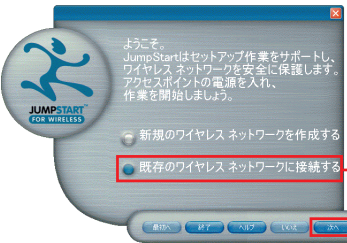
6 ネットワークの設定がはじまりますので、作業が完了するまでしばらく待ちます（作業時間はお使いの環境によって異なります）。

7 「JumpStartが完了しました！」の画面が表示されたら設定は終了です。[完了]をクリックしてJUMPSTARTを終了してください。

8 手順7で[完了]をクリックすると、無線ルータや無線アクセスポイントが再起動し、再起動後に通信可能となります。

設定が終了したら、接続したい無線ルータや無線アクセスポイントのステータスLED（製品によって名称が異なります）が点滅していることをご確認ください。また、お使いのパソコンの画面右下にあるタスクトレイのアイコンが、図のようになっていれば通信可能です。

このアイコンが図のようになっていれば通信可能です。

これで本商品をお使いいただけます

●追加で設定する場合

JUMPSTARTを使用してすでに設定されている無線ルータや無線アクセスポイントに接続するには、次の手順を行ってください。

注意 JUMPSTARTを使用して設定を追加する場合、接続したい無線ルータや無線アクセスポイントのステータスLED（製品によって名称が異なる場合があります）が点滅していることをご確認ください。

1 デスクトップにある「JumpStart」のアイコンをダブルクリックします。

2 次の画面が表示されますので、「既存のワイヤレスネットワークに接続する」を選択し、[次へ]をクリックします。

3 「新規に設定する場合」の手順5で設定したパスワードを入力します。

メモ パスワードがわからない場合は、はじめにJUMPSTARTを使ってパスワードを設定した管理者等にご確認ください。

4 ネットワークの設定がはじまりますので、作業が完了するまでしばらく待ちます。

5 次の画面が表示されたら設定は終了です。[完了]をクリックしてJUMPSTARTを終了してください。

以上でJUMPSTARTで暗号化されたネットワークに接続することができました。

■JUMPSTARTに関するQ&A

❶トラブルかな？ と思う前に

「トラブルかな？」・「故障かな？」と思ったら、はじめに次の項目をご確認ください。

- **接続する無線ルータや無線アクセスポイントはJUMPSTARTに対応していますか？**
  → お使いの無線ルータや無線アクセスポイントがJUMPSTARTに対応しているかご確認ください。
- **無線ルータや無線アクセスポイントのJUMPSTART機能は「有効」になっていますか？**
  → 無線ルータや無線アクセスポイントの取扱説明書をご覧いただき、JUMPSTARTが「有効」になっているかご確認ください。

❷接続したい無線ルータや無線アクセスポイントの検索が終わらない

❶の項目をご確認いただき、それでも問題がない場合は、JUMPSTART画面の［終了］をクリックし、はじめから設定をやり直してください。

❸接続したい無線ルータや無線アクセスポイントのLEDが点滅しない

LEDの点滅パターンが一致しない場合は、JUMPSTART画面の［いいえ］をクリックし、再度検索してください。また、2台以上の無線ルータや無線アクセスポイントをお使いの場合は、接続したい無線ルータや無線アクセスポイント以外の親機の電源をオフにして設定してください。

❹JUMPSTARTのパスワードを忘れてしまった

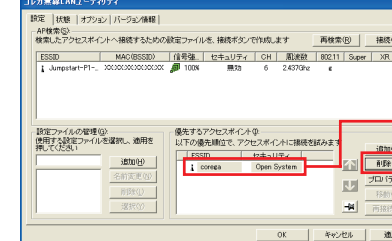
パスワードを忘れてしまった場合は、無線ルータや無線アクセスポイントを工場出荷時の状態に戻し、もう一度はじめからJUMPSTARTを使って設定し直してください。無線ルータや無線アクセスポイントを工場出荷時の状態に戻す方法は、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

注意 無線ルータや無線アクセスポイントを工場出荷時の状態にした場合、設定内容が消えてしまう場合がありますので、事前に設定内容をメモしておいてください。

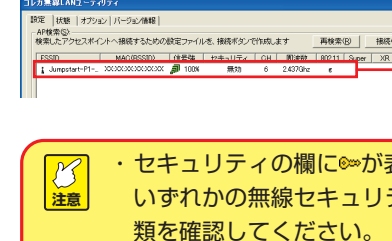
❺JUMPSTARTが途中で止まってしまう

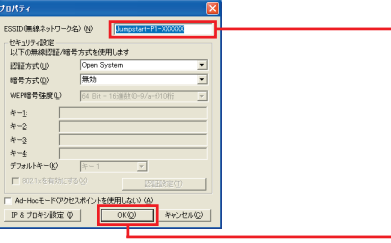
JUMPSTARTが途中で止まってしまった場合は、画面内の［終了］をクリックし、はじめから設定をやり直してください。

❻JUMPSTARTを解除するには

JUMPSTARTを解除するには、無線ルータや無線アクセスポイント（親機）のJUMPSTART機能を「無効」に設定してください（設定方法は無線ルータや無線アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください）。無線LANアダプタ（子機）側は、特に設定する必要はありません。

メモ JUMPSTARTを使ってセキュリティを設定した場合は、解除しないで使用することをおすすめいたします。

その他の疑問や質問は、付属の「Q&A」にも記載されておりますので、あわせてご覧ください。

STEP 3b 無線ユーティリティで接続する

1 画面右下のタスクトレイにあるアイコンをダブルクリックし、ユーティリティ画面を開きます。

2 「優先するアクセスポイント」欄に「corega」のESSIDが表示されている場合は、そのESSIDを選択し、［削除］をクリックします。

注意 接続したい無線ネットワークのESSIDが「corega」の場合は、削除する必要はありません。

3 「AP検索」に表示されている、接続したい無線ネットワークをダブルクリックします。

注意
- セキュリティの欄に鍵マークが表示されている場合は、WEP、WPA、WPA2のいずれかの無線セキュリティが設定されています。無線セキュリティの種類を確認してください。
- アクセスポイントが一覧に表示されない場合、［再検索］をクリックしてください。それでも表示されない場合は、付属の「Q&A」をご覧いただき接続に問題ないかご確認ください。

4 「プロパティ」画面が表示されますので、「ESSID（無線ネットワーク名）」が接続した無線ネットワークのESSIDであることを確認し、［OK］をクリックしてください。

5 手順2の画面に戻ったら、画面右下にある［適用］をクリックし、設定を反映させます。

手順2の画面の「優先するアクセスポイント」のアイコンがになっていれば、接続完了です。また、設定が終了したら、お使いのパソコンの画面右下にあるタスクトレイのアイコンが、図のようになっていれば通信可能です。

これで本商品をお使いいただけます

注意
- WEP、WPA、WPA2のいずれかが設定されていた場合は、ユーティリティディスク収録の「詳細設定ガイド」をご覧いただき、本商品に同じ設定を行ってください。
- Windows Me／98SEをお使いで、ネットワークにJUMPSTARTが設定されていた場合は、無線ルータまたは無線アクセスポイントのJUMPSTARTを無効にした後で、新たにセキュリティの設定をする必要があります。JUMPSTARTを無効にする手順は、無線ルータまたは無線アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

■製品仕様

項目	仕様
■無線部	
PCインタフェース	USB 2.0／1.1（シリーズA）準拠
国際規格	IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11b、IEEE802.11
国内規格	ARIB STD-T66／STD-T71
周波数帯域（中心周波数表示）／チャンネル	IEEE802.11a:5.180～5.320GHz／36、40、44、48、52、56、60、64chの全8ch IEEE802.11g/b:2.412～2.472GHz/1～13ch
伝送方式	直交周波数分割多重変調方式（OFDM）、直接拡散型スペクトラム拡散方式（DS-SS）
アクセス方式	CSMA／CA
伝送速度	IEEE802.11a/g:54/48/36/24/18/12/9/6Mbps IEEE802.11b:11/5.5/2/1Mbps
セキュリティ	ESSID方式（IEEE802.11:ID（文字列）による識別）、WEP（64/128/152bit）、WPA/WPA2-PSK（パーソナル）、WPA/WPA2-EAP（エンタープライズ）
アンテナ形式／タイプ	チップアンテナ／シングルアンテナ方式
通信モード	Infrastructure／Ad-Hoc（IEEE802.11a使用時は36～48chで対応）
■電源部	
定格入力電圧	DC5V
最大消費電力	送信時：2.4W、受信時：1.5W
■対応OS	Windows XP／2000／Me／98SE
■対応PC	DOS/V
■環境条件	
動作時温度／湿度	0～40℃／90%以下（結露なきこと）
保管時温度／湿度	−20～60℃／95%以下（結露なきこと）
■外形寸法（本体のみ）	29（W）×82（D）×13（H）mm（キャップ含まず）
■質量（本体のみ）	16g（キャップ含まず）

■工場出荷時の設定

項目	設定
■通信モード	Auto
■ESSID	corega
■チャンネル	Auto
■暗号化	無効
■Super A/G	ON（圧縮）
■eXtended Range	無効

■おことわり

- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 画面は開発中のものにつき、予告なく仕様を変更することがありますがご了承ください。
- Windows XP SP1は、Microsoft Windows XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 1または、Microsoft Windows XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 1のいずれかを指します。
- Windows XP SP2は、Microsoft Windows XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 2または、Microsoft Windows XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 2のいずれかを指します。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

2005年10月 初版
2007年1月 第二版